

平成 30 年第 3 回定例会 防災警察常任委員会

平成 30 年 10 月 11 日

意見発表

鈴木委員

私から、数点、要望並びに意見を述べさせていただきたいと思います。

まず、警察関係でございますが、委員会の中でもお話しさせていただきましたとおり、パトカー並びにまた公用車の運転というものについて質疑をさせていただきました。犯人の追跡や、また、いろいろな事件についての対応ということで、大変高度な運転技術が要請される時代が来たのだと思います。そういう意味では、なお一層の練習できる場所並びにスキルをまた高めるような一つ方途を、いろいろまた御準備いただきたいというお願ひを 1 点しておきたいと思います。

二つ目、チリリン・デーについて、皆様方の御協力をいただきまして、毎月 5 日、特に今月は 5 日に私の地元の鶴見で視察をさせていただきました。自転車に乗っている方は、軽車両との認識がないので、一つ一つまた止めいただきながら、実は、ここはこういうことなのですよという説明をしていただく状況を見て、警察の皆さん方が、制服で実際に御指導いただく効果というようなものを拝見させていただきました。どうぞ、毎月 5 日に行われる、このチリリン・デーの、更なる深化をお願いしまして、是非とも、全国一、自転車事故がない、そういう神奈川県をつくっていただきたいということをお願い申し上げます。

また、くらし安全防災局につきましては、第 1 点、お願ひをいたしました、ツイッターを使っての架空請求詐欺、昨日も私のところに 2 件のはがきで、こういうようなのをもらったが、どういうものなのだろうかという御年輩の方からの御相談がありました。一刻も早く、県がこういうようなホームページを持っている、また、ツイッターを持っているということを県民に早く知らせていただかないと、せっかく、その事業者名や、また具体的なはがきの内容等々が載っている貴重な情報源というのは、県民に届かなければ大変にもったいないと思います。いろいろと力を入れていただいて開設したホームページですので、どうかもう一度、県民に更なる普及をしっかりとしていただくように、お願ひを申し上げたいと思います。

2 点目は、自転車の条例についてでございますが、私も検討委員会の内容を見ていて、いきなり各論がいっぱい書いてあるので、しっかりととしたハンドブックをつくってほしいということをお願いして、快く受け入れていただきました。中に、なぜ T S マークなのか、また、法定点検も含めて、どのような仕組みになっているのか、分かりやすく、今回の条例というものを各論という形から書いていただかないと、ただただ、この条例ができましたといっても、罰則がないということは、ある意味で、なかなか関心というようなものはいかがなものかというような思いもございます。その観点から、またハンドブックの更なる内容充実というようなものもお願いしまして、県民に分かりやすく、他の県等々でも、こういうハンドブックをつくられているようでございますが、よ

り分かりやすい観点からのハンドブックの作成をお願いしたいと思います。

残りは、風水害対策について質疑をさせていただきました。その中で、3点ほど御要望を申し上げたいと思います。

第1点ですが、水防法、大変に難しい法律で、なかなかこのことについて、ぱっと分かる方はあまりいないと。そういう意味で、水防法の中に出でてきている、特に洪水、そして高潮、そして内水というようなものについて、より分かりやすく何らかの形でお書きいただくような機会を、風水害のマニュアルでも結構ですから、どこかに一つしっかりと入れていただきたいというのが第1点でございます。

第2点目は、お願いしました、まるごとまちごとマップでございますが、国がつくったものでございますが、防災部長からも賛同いただきましたが、なかなか分かりやすい内容で書かれていると、これについて、県として何らかのものをつくって、しっかりと市町村等々に情報提供というのを一刻も早くすべきであると私は思うのです。現場に行けば行くほど、風水害についての不安というようなものは、この西日本の豪雨があったせいもあるかと思いますが、特に河川をお持ちの市町村にお住まいの方々というのは、大変な、心配事として残っておりますので、何かここで見える化していただければ有り難いというのが、二つ目でございます。

三つ目は、その中で私も提案させていただきましたが、特に避難のいろいろな標識について、より情報が分かりやすく、1人に1台のスマホの時代と言われている中で、QRコードの活用ということも、ある意味で標識ですから、限られたスペースの中でQRコードを使うということもすごく大事ですので、その点もお考えいただきながら、風水害対策により一層御尽力賜りたいと思います。

以上、意見、要望を申し上げて、諸議案に賛成いたします。